



No. 2 7

大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyou
Elementary School

HP:<http://www.taisyo.obihiro.ed.jp>

平成29年7月11日

授業参観・懇談会（高学年）ありがとうございました

ここ数日は真夏のような日差しが照りつけています。35℃を超える日が続いてきました。熱中症・日射病とならぬように、特集を組みましたので、ご参照ください。7月7日（金）今年度2回目となる授業参観・懇談会（高学年）を行いました。また、保育所の行事と日程が重なりご迷惑をおかけしましたが、多くの保護者・地域の皆様にご来校していただきました。本当にありがとうございました。さて、高学年も、4月から3ヶ月あまりが経ちました。真面目な態度で、しかも積極的に学習活動に参加し取り組む子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。（写真：7月7日（火）高学年の様子より）



全体懇談会の説明内容～校長挨拶・PTA会長挨拶

全体懇談会の校長挨拶・PTA会長挨拶（代理挨拶・・・低学年～高嶋副会長、高学年～白木副会長）の中で、学校教育関係の説明プリントの概要を掲載します。挨拶の中では、下記の説明プリントの重点的な内容でお話をしています。説明プリントから追加している部分もありますので、書き加えてあります。

1. 自立と成長

- ①学級活動（高学年～児童会）の活動の様子・・・当番活動や係活動は、責任感と自立を促す。
- ②学校行事への取組

- ・成長の実感・向上が伴うような話し方・ほめ方で意欲を高める。
- ・自分の力でできたことへの良き評価⇒自信がもてる（思い込みでも構いません）
⇒自尊心の高まり・自己肯定感・自己有用感
- ・みんなで決めたことへの協力、参加、支え合い、はげまし、上級生への協力（高学年～上級生から下級生への指導と協力⇒良き伝統の継承）

2. 1学期の振り返り

- ①学習の状況～学習のきまりを含めた授業への取組や家庭学習状況など
- ②生活の状況～時間を守る、当番・係活動、危機回避能力を育てることなど
- ③友達関係、思いやり・・・子どもの指導は、わが子だけでなく他の子もわが子のように指導という観点で互いにご協力をお願いしたい。
- ④ブランコ・昇り棒の鎖の摩耗による故障の報告と、修理・更新の検討について
- ⑤かぜの紙芝居公演は7月14日（金）。3時間目（1・2年生）、4時間目（3・4年生）、5時間目（5・6年生）となっています。どなたでも参加できます。

3. 夏休み中の学習・生活

- (1) 学習 「子どもの学びは生涯学習につながる」

- ① 学校での取組・・・家庭学習時間調べ 家庭学習の決まり自己評価 など
◎個人差はあります。本校の児童の学習時間が増えていくよう努めます。10分×学年+10分
- ② お願い
いつも勉強するところはきれいにしている（集中力、すぐに始まる）
何時までするか（したか）確かめる（決まった時間にスイッチオン）
鉛筆・箸の持ち方チェック（丁寧さ・正確さ）
何の勉強をするか聞く（その場で計画。やる気の確認）
ひと声かけて勉強に入る（おわったらねぎらう・ほめる）期待感達成感
腰をたてて勉強する（良い姿勢）（効率的・持続的な学習）



- (2) 生活

- ① 基本的な生活習慣・早ね早おき朝ごはん、健康面の留意事項
・目標や計画を決める、修正し直すなどして、自立心を養う。
・基本的な生活習慣・早ね早おき朝ごはん、健康面に留意することが学習面の底上げをする。
・「アウトメディアの日」の取組・・・テレビ視聴DVD視聴、ゲーム、携帯電話・スマートフォン、PCインターネットなどを含めて、過度な接触時間を減らし、自分自身の時間・家族団らんの時間・人と人とのつながりの時間を大切にすることを「アウトメディア」と言います。昨年のノーテレビ・ノーゲームより範囲が広がります。毎月7日は、「アウトメディアの日」として、7月7日からその取組をスタートします。
- ② 安全面の留意事項
・交通事故や水の事故、山での注意。特に河川や山には子どもだけで行かないように指導。
- ③ 普段できないこと、じっくりと時間をかけて取り組むために、よい機会。

熱射病・熱中症・日射病に気をつけましょう！！



暑い日が続いています。日射病や熱中症に十分に注意してお過ごしください。

熱射病は、屋内・屋外を問わず、高温多湿な環境下に長時間いたり、作業をした時に起こる病気です。体温調節機能が破綻することで、倦怠、頭痛、めまい、意識障害を伴います。汗が出ず、40度以上の高体温となって、生命にかかわることもあります。

熱中症は、高温や多湿の環境下で起こる身体の障害の総称です。症状としては、発汗による脱水と、血管の拡張で血圧が下がり、めまい、失神などを起こす「熱失神」。大量の発汗により、塩分やミネラルが不足し、筋肉のけいれんを起こす「熱けいれん」。多量の発汗に水分や塩分の補給が追いつかず、脱水症状となった時に発生する「熱疲労」。体温調節機能が失われることによって起こる「熱射病」がある。熱中症の重症度分類では、熱けいれんや熱失神が「軽症」、熱疲労は「中等症」、熱射病は「重症」にあたります。

つまり、熱射病も熱中症の一種。日射病も熱射病や熱中症の一種で、症状や症状の原因となる身体の変化よりも、身体に変化を起こした原因が直射日光であることに重点を置いたのが「日射病」です。

熱射病・熱中症・日射病の予防

○30℃を超える日、あるいは運動時間・内容によっては30℃に近い日は、定期的かつ適量の休息・冷却・水分補給が必要です。また、帽子や日陰の利用など、直射日光を長時間受けないことが大事です。



熱射病・熱中症・日射病の手当の基本

- 休息・安静が必要です。そのための安静を保てる場所に移動することや衣服を緩めることが大事です。また、必要に応じて衣服を脱がせ、体を冷却しやすい状態とすると良いです。
- 冷却・涼しい場所(クーラーの入っているところ、風通しの良い日陰など)で休ませることが必要です。また、症状に応じて、必要な冷却を行うと良いです。
- 定期的かつ適量の水分補給を行う必要があります。意識がはっきりしている場合に限り、水分補給を行います。スポーツドリンクが適しています。**意識障害や吐き気がある場合には、医療機関での受診・治療が必要となります。**

その他、気温上昇とともに食中毒が心配です。食品の管理にも注意が必要です。

自転車運転に気をつけましょう！！

新聞にも掲載されていますように、帯広市内小中学校に向けて、帯広市交通安全推進委員連絡協議会、北海道釧路方面帯広警察署、帯広市安心安全推進課の皆様が、安全な自転車運転について、注意喚起を呼びかけています。

(1) 自転車の安全運転～「交通事故を起こさない・遭わないために」～

- ① 傘さし、携帯電話やヘッドホンを使用しての運転禁止
- ② 並進走行の禁止
- ③ 夜間の無灯火は危険
- ④ 歩行者の安全に注意した運転
- ⑤ 危険運転をした自転車利用者には、イエローカード「指導警告票」を発行



(2) 自転車事故の多発パターン

- ① 一時停止標識を無視して交差点へ進入し、交差車両と衝突！
- ② 安全を確認しないで交差点に進入し、交差車両と衝突！
- ③ 青信号で安全を確認しないで交差点に進入し、右・左折車と衝突！
- ④ 歩道から交差点に進入し、脇道からの車と衝突！
- ⑤ 歩道を通行中、駐車場などへ出入りする車と衝突！
- ⑥ ライトをつけずに運転し、横断中に車と衝突！



教材園(校舎北側)で頑張る子どもたち

(写真は3年生。教材園で作業する様子です。)

教材園では、当番や自主的に(自分の植えた野菜など)、登校時・下校時に各学年ごとに水やりをしています。成長した野菜に大喜び。担任の先生と喜びを共有します。教材園では、学年の教科指導に出てくる野菜を教材として植えています。これからは、草取りや支柱が必要な野菜にはその支柱を立てたりと、管理がますますたいへんになりますが、頑張ります。

